

レーバレート

指数に掛ける一時間当たりの単価がレーバレートである、自社の地区がこの金額だから当社も同じ金額だと云われている一部の業者が居られるが、本来は自社独自の金額を設定しておく事である。

自社独自の算出方法は簡単に云うと例を挙げて見ると、自企業の従業員 4 人で月間経費が 290 万円と利益 10 万円、月間必要金額 300 万円とすると、その金額を 4 人の月間総労働時間に稼働率を掛けた時間（仮に 480 時間とする）で割った時間当たり売価が 6200 円となり、これがこの店のレーバレートである。

従業員数 4 人

月間経費 2,900,000 円 プラス 利益 100,000 円

月間売上 3,000,000 円 として

時間当たり売値 = 3000000 円 / 480 時間 = 6200 円

本来は月間で計算するのでは無く年間で算出が基本であるが例として述べた。

レーバレートとは、外食産業で例えると屋台と料亭では金額が違うのと同じであり、レーバレートが高いのが良いとは云えない、まして店構えが違うのに同一地区だから皆同じ金額とするのは間違いである、とはいえ他社と自社との店構えがそう違いが無いのに金額に大幅な差があるのもどうかであり、すべて商売である以上他社と自社との差については神経を使う必要がある。

作業方法の決定

特に板金作業は一台毎に違う、しっかりした独自の尺度を持って指数表を使う使わないは別にして、少なくとも板金するか交換するかの自社基準を確立しておく、ユーザーの金払いを見て決定するようでは店の信用にも係わるし、前項でも述べた様に品質性能が維持出来るか判断するべきである。